

佳作

とびごんのはげまつあつ

茨城県 下妻市立大形小学校一年 人見 桜雅

ぼくのしょうがっこうは、まいつき一かい「おやこまなびタイム」という、おやこでなにかをしようというひがあります。

そのおやこまなびタイムのひ、ぼくはおとうさんとつくばさんへはじめてのとびごんにいくことにしました。

ぼくのげんきなパワーなら、きっととびごんのぼれちゃうぞ。そうかんがえたら、たのしみでよるはなかなかねむれないし、あさもはやくおきてしまいました。

あさはやくにつくばさんにのぼりはじめると、まわりはきりでもっていて、あるところはおおきないわとドロドロなあしもと。さいしょはたのしかったけど、とちゅうからおおきなわを一つこえるだけでもつらくてあしはドロだらけだし、すべらな

いようにあるくのもつかれました。ねむくなつてきて、もうかえりたいとおとうさんにもんくをいったりもしました。

そんなとき、ぼくたちみたいにとびごんしてるひととあうたびに、みんながあいさつやがんばってねって、やさしくこえをかけてくれました。そのときおとうさんがぼくに

「みんながあいさつをしてくれるだろう。とびごんはしらないけど、めざしてるところはみんなおなじ、なかまなんだよ。あいさつやこえをかけあって、みんなとはげましあつてのぼるのもとびごんのたのしみだよ。」

とおしえてくれました。

それまでのつらいきもちがきえて、ぼくもあいさつをしてはげましあいがしたいというきもちになりました。

さいしょはすこしはずかしかったけど、うしろからきたおばあさんたちにゆうきをだしてじぶんからおおきいこえで

「おはようございます。」
とあいさつを試みたら

「おはよう。ちいさいのにこんなのにのぼってきたの

ね。もうすこしだからがんばってね。」
と喋って来てとてもうれしかったし、がんばろう
ってきもちになりました。

それからたくさんのはげましあいをしてながら、や
っとちようじょうにつきました。

ちようじょうはこいきりでけしきもみえずのぼり
きったかんだうはあまりなかったけど、ちようじょ
うにはとちゅうではげましあいをしたひとたちもた
くさんいて、いっしゅんのあいさつでもぼくのこと
をおぼえて、またこえをかけてくれたひとがたく
さんいました。そのときやとちようじょうまでの
ぼりきったことをじっかんして、うれしくてなみだ
がでそうになりました。つらいこともいっぱいだっ
たけど、とぎんのはげましあいはとてもきもちがよ
くて、あきらめずにのぼってよかったとおもいまし
た。